

# 第 149 回東邦医学会例会プログラム

平成 29 年 2 月 8 日(水) 17 時～19 時 47 分

平成 29 年 2 月 9 日(木) 17 時～19 時 38 分

平成 29 年 2 月 10 日(金) 17 時～19 時 32 分

会 場: 東邦大学医学部大森臨床講堂(5 号館 B1F)

当番教室: 8 日 微生物・感染症学講座	館田一博教授
9 日 内科学講座呼吸器内科学分野(大森)	本間 栄教授
10 日 法医学講座	黒崎久仁彦教授

2 月 8 日(水)

開会の辞 \_\_\_\_\_ 微生物・感染症学講座 館田一博教授  
当番教室: 微生物・感染症学講座

## A. 平成27年度プロジェクト研究報告1 (発表:各8分, 討論:各2分)

座長: 教授 澁谷和俊先生 (大森病院病理) 1～3 席 (17:00-17:30)

1. ムーコル症の病理組織学的検討(8 分)  
○栃木直文(大森病院病理), 関谷宗之(大森呼内)
2. 肺腺癌に対する病理組織学および分子生物学的予後因子の解析(8 分)  
○肥塚 智(大森呼外), 古谷賢太(大森呼内)
3. 大腸癌における血清自己抗体の解析(8 分)  
○牛込充則, 鈴木孝之(大森消外), 大塚隆文(大森消内)

## B. 大学院学生研究発表 1 (発表:各 8 分, 討論:各 2 分)

座長: 教授 石井良和先生 (微生物・感染症学) 4～6 席 (17:30-18:00)

4. インフルエンザ後の二次性肺炎球菌性肺炎における肺炎球菌結合型ワクチン効果(8 分)  
三村一行(生体応答系), 指導教授:館田一博教授(微生物・感染症)  
審査員:中野裕康教授, 本間 栄教授, 松瀬厚人教授
5. 院内伝播事例で分離された IMP-1 産生 *Enterobacter cloacae* ST78 の遺伝的背景に基づく  
薬剤耐性プラスミドの解析(8 分)  
青木弘太郎(生体応答系), 指導教授:石井良和教授(微生物・感染症)  
審査員:赤羽悟美教授, 澁谷和俊教授, 中島耕一教授
6. Resveratrol ameliorates arterial stiffness assessed by cardio-ankle vascular index in patients with  
type 2 diabetes mellitus(8 分)  
今村榛樹(代謝機能制御系), 指導教授:龍野一郎教授(佐倉糖代内)  
審査員:武城英明教授, 東丸貴信教授, 弘世貴久教授

## C. 大森病院 CPC Clinico-pathological conference (CPC)

司会: 准教授 名取一彦先生 (血液腫瘍科) 7 席 (18:00-19:00)

7. 肺癌治療中に胸水増多により治療に難渋した 1 例  
関谷宗之(大森呼内), 定本聡太(大森病院病理)

## D. 教授特別講演 1

座長: 教授 和田弘太先生 (大森耳鼻咽喉科) 8 席 (19:00-19:20)

8. 蝸牛血管条毛細血管基底膜の加齢に伴う変化: 難聴モデルマウスによる観察(20 分)

耳鼻咽喉科学講座(佐倉) 鈴木光也教授

**E. 研修医発表(大森病院初期研修医)1**

(発表:各7分, 討論:各2分)

**座長: 教授 中嶋 均先生 (総合診療・救急医学) 9~11 席 (19:20-19:47)**

9. 原因不明の発熱と両側副腎腫大を呈した79歳男性の1例(7分)  
岸上大輝, 指導:城戸秀倫(総診内科)
10. IPAFの治療経過中にTMAを発症した1例(7分)  
栗田昂幸, 指導:熊野浩太郎(佐倉呼内)
11. 大動脈気管支瘻に対して気管支充填術(EWS)を用いて救命できた1症例(7分)  
上園志穂, 指導:一林 亮(救命救急)

2月9日(木)

**当番教室: 内科学講座呼吸器内科学分野(大森)****F. 平成27年度プロジェクト研究報告2**

(発表:各8分, 討論:各2分)

**座長: 教授 近藤元就先生(免疫学) 1~4 席 (17:00-17:40)**

1. 新生児期制御性T細胞の役割(8分)  
○田中ゆり子(免疫), 菊池由宣(教育開発室)
2. シェーグレン症候群発症における中心性免疫寛容の役割(8分)  
○井上彰子(大森耳鼻), 桑原 卓(免疫)
3. レジスチンによる関節リウマチ病態形成の研究(8分)  
○佐藤洋志, 村岡 成(大森膠原病)
4. 光学的MAPK活性操作による細胞生死シグナル制御機構の研究(8分)  
○富田太一郎, 伊藤雅方(統合生理)

**G. 分科会報告**

(発表:各10分, 討論:各5分)

**座長: 教授 高橋 啓先生(大橋病院病理) 5~7 席 (17:40-18:25)**

5.  $\gamma$ グロブリン大量静注療法により劇的改善したMiller-Fisher症候群の1例(10分)  
○丸山祐樹, 館野冬樹, 相羽陽介, 館野広美, 露崎洋平,  
岸 雅彦, 榊原隆次(佐倉神内)(佐倉内科例会)
6. 川崎病動脈炎モデルにおけるTNF- $\alpha$ の関与についての組織学的検討(10分)  
○大原関利章, 横内 幸, 榎本泰典, 佐藤若菜, 竹田幸子,  
高橋 啓(大橋病院病理)(大橋病院医学会)
7. 便中biomarkerと超低線量CT colonographyによる潰瘍性大腸炎活動性モニタリングの可能性(10分)  
○竹内 健, 宮村美幸, 鈴木康夫(佐倉内科), 石川ルミ子(佐倉放射),  
上原 準, 石田 悟(佐倉中央放射線部)(佐倉学術集会)

**--- 当番教室企画: 教育講演 (18:25-19:20) (発表:45分, 質疑応答:10分) ---**

&lt;企画担当&gt; 内科学講座呼吸器内科学分野(大森)

**座長: 講師 磯部和順先生(大森呼吸器内科)****「肺癌の内科的治療 Up to Date」 鏑木教平(大森呼吸器内科)**

**H. 研修医発表(大森病院初期研修医)2**

(発表:各 7分, 討論:各 2分)

**座長: 教授 森田峰人先生 (大森産科婦人科) 8・9 席 (19:20-19:38)**

8. HELLP 症候群の 1 例(7 分)

松井彩乃, 指導:森山 梓(大森産婦)

9. 子宮体癌術後に発症した腸腰筋膿瘍の 1 例(7 分)

向井隆文, 指導:長島 克(大森産婦)

2月10日(金)

**当番教室: 法医学講座****I. 一般演題**

(発表:各 7分, 討論:各 2分)

**座長: 教授 佐藤二美先生(生体構造学) 1・2 席 (17:00-17:18)**

1. PBL tutorial 症例要約の Rubric 評価と TBL 個人準備確認試験と CBT 可否との検討(7 分)

○藤代健太郎(教学 IR センター, 医学教育センター), 松崎淳人(教学 IR センター),  
酒井 謙(大森腎臓), 赤羽悟美(統合生理),  
岸 太一, 佐藤二美(医学教育センター)

2. 当院における CCF(内頸動脈海綿状脈洞瘻)の 5 症例(7 分)

○曾根崎雅也, 岡島行伸, 堀 裕一(大森眼科),  
権田恭広(済生会神奈川県病院眼科)**J. 平成 27 年度プロジェクト研究報告 3**

(発表:各 8分, 討論:各 2分)

**座長: 教授 佐藤二美先生(生体構造学) 3 席 (17:18-17:28)**

3. 心血管インターベンションのための刺激伝導系動脈枝に関する解剖学的解析(8 分)

○川島友和, Reeshan Ul Quraish (生体構造)

**座長: 教授 並木 温先生(医学教育センター) 4 席 (17:28-17:38)**

4. テーラーメイド医療をめざした肺神経内分泌腫瘍に対する遺伝子解析(8 分)

○牧野 崇(大森呼外), 清水宏繁(大森呼内)

**K. 平成 28 年度プロジェクト研究報告**

(発表:各 8分, 討論:各 2分)

**座長: 教授 並木 温先生(医学教育センター) 5・6 席 (17:38-17:58)**

5. 心静止に対するパーカッションペーシングの有効性の証明とその作用機序の解明(8 分)

○和田 剛, 安東賢太郎(薬理)

6. 刺激伝導系と一般心筋における cAMP signaling の差異の機序解明(8 分)

○曹 新, 谷川洋一(薬理)

**L. 大学院学生研究発表 2**

(発表:各 8分, 討論:各 2分)

**座長: 教授 草地信也先生 (大橋一般・消化器外科) 7・8 席 (17:58-18:18)**7. 新規併用プレートをを用いたメチシリン耐性黄色ブドウ球菌に対する抗菌薬併用効果の  
*in vitro* での検討(8 分)小野大輔(生体応答系), 指導教授:舘田一博教授(微生物・感染症)  
審査員:瓜田純久教授, 澁谷和俊教授, 草地信也教授8. *Clostridium difficile* BI/NAP1/027 型の増殖抑制に関する検討(8 分)石井利明(生体応答系), 指導教授:舘田一博教授(微生物・感染症)  
審査員:草地信也教授, 澁谷和俊教授, 杉山 篤教授**M. 教授特別講演 2****座長: 教授 大西 清先生(大森形成外科) 9 席 (18:18-18:38)**

9. 組織修復の制御機構と新規展開 (20 分)

**先端医科学研究センター 赤坂喜清教授**

**N. 研修医発表(大森病院初期研修医)3**

(発表:各 7 分, 討論:各 2 分)

**座長: 准教授 南木敏宏先生(大森膠原病) 10~12 席 (18:38-19:05)**

10. 網膜色素変性症が疑われて, PDE 阻害薬で症状増悪した症例(7 分)

鄭 有人, 指導:片山雄治(大森眼科)

11. DPP-4 阻害薬により RS3PE 症候群を呈した 1 例(7 分)

山田善登, 指導:山田壯一(大森膠原病)

12. ウイルス感染が先行し, 脊髄肥厚性硬膜炎を合併した全身性エリテマトーデスの 1 例(7 分)

西宮哲生, 指導:鎗木 誠(大森膠原病)

**座長: 教授 穴戸清一郎先生(大森腎臓学) 13~15 席 (19:05-19:32)**

13. 悪心, 嘔吐で入退院を繰り返した透析患者の 1 例(7 分)

渡辺 剛, 指導:斎藤彰信(大森腎臓)

14. 腫瘍崩壊症候群に対して血液透析を行った 1 例(7 分)

村上敬規, 指導:板橋淑裕(大森腎臓)

15. 悪性貧血と早期胃癌の合併を認めた 1 例(7 分)

櫻井康二郎, 指導:石井孝政(総診内科)

**閉会の辞****法医学講座 黒崎久仁彦教授**

- 
- 1) 一般演題, 大学院学生研究発表, プロジェクト研究報告, 研修医発表, 分科会報告, 医学研究科推進研究報告の演者は, 開催当日までに必ず「雑誌掲載用講演抄録」(演題, 演者名, 本文 400 字程度, Keywords 英語 3 語以内\*)を e-mail にデータ添付でお送りください(E-mail :igakukai@med.toho-u.ac.jp)。\* Keywords は東邦医学会雑誌総索引に掲載されますので, 適切な用語を選んで下さい。
  - 2) 教授特別講演の先生は, 事前にお渡しした執筆依頼のとおり, 例会・総会当日より 4 週間後に本文 2,000words 前後(詳細執筆要項参照)にご講演内容をまとめて提出してください。
  - 3) CPC の先生は当日お渡しする執筆依頼に従って御執筆いただき, 例会・総会当日より 4 週間後に提出してください。
  - 4) 当番教室企画講演の先生は, 例会・総会当日より 4 週間後に 3,200 字程度の総説形式講演要旨として提出してください。  
※1), 3), 4) は東邦医学会雑誌, 2) は Toho Journal of Medicine 近刊号に掲載の予定です。  
※詳細は事務局までお問い合わせください(内線 2465)。

5 号館地下臨床講堂 内線:3862 / PHS:78078(開催日のみ)